

NPO やすらぎの郷いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



ドローン撮影 高橋 忠市

地域の安全安心を守る消防団

飯野町消防団は合併により、福島市消防団第九方面隊となりました。新春恒例出初式ちょうちん落とし競技は、飯野町の伝統ある行事です。

我々消防団は昼夜を問わず、地域防災の要として、日々活動しております。火災消火活動は元より、行方不明者の捜索活動や地震、風水害等々大規模災害にも従事し、多岐にわたり献身的な奉仕活動を行っております。地域の安全安心の確保ということでは、「やすらぎの郷いいの」の活動と共通することかと思えます。

未来を見据えた福島市消防団のビジョンを描き、新時代に即した消防団として歩み続けて参ります。

福島市消防団 第九方面隊 須田 貢一

令和5年度の事業状況

第3四半期まで

令和5年度は、新型コロナが2類から5類に変更された関係で活動は活発になりましたが、水面下での感染拡大第9波(夏から秋)と秋からのインフルエンザ急増への対応が必要になりました。

そんな中で、訪問介護事業で午前・午後の継続介助利用者があり

利用回数は大幅に増加しました。

居宅介護支援事業は、昨年同様安定的に利用者も増加しました。

生活支援事業では、ベテランボランティアさんの引退と大口利用者の減少により利用者数以上に収入は減少しました。

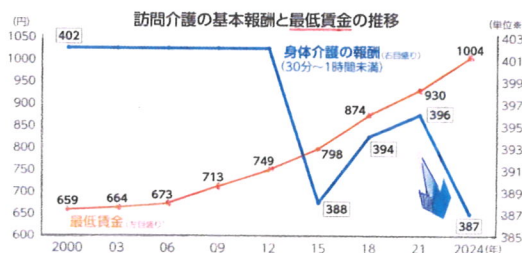
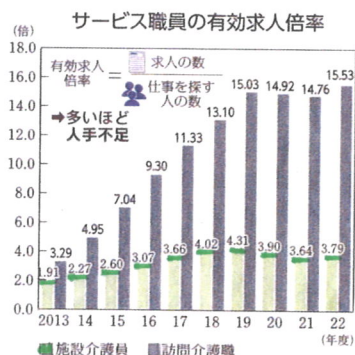


区分 摘要	訪問介護・総合事業計		居宅介護支援・認定調査		生活支援活動事業	
	利用回数	収入(千円)	利用回数	収入(千円)	利用回数	収入(千円)
R5年度	5,258回	17,367	622回	7,393	59回	289
R4年度	4,201回	14,482	594回	6,954	87回	597
増減	1,057回	2,884	28回	439	△28回	△308

	R5年度	R4年度	増減	備考
利用回数計	5,939回	4,882回	1,057回	21.7%増 主に訪問介護事業
利用収入合計	25,049千円	22,033千円	3,016千円	13.7%増 同上

訪問介護報酬引き下げ「撤回を」

介護報酬の今年4月の改定で訪問介護(ヘルパー)の報酬が引き下げられます。国は物価高騰の中、賃上げをすすめているにもかかわらず、引き下げです。もともと低賃金で深刻な人手不足ですが、他産業にますます人材が流出してしまいます。



ヘルパー事業所の倒産が小規模事業所を中心に2023年は、過去最高になっています。また、ヘルパー事業所が依頼を断る理由でもっとも多い理由が人手不足です。「介護保険あってサービスなし」になりかねません。



みんなの広場



10周年に寄せられた皆様の声



今回作成した記念タオルは会員、利用者様、民生委員様、関係事業所などにさしあげましたが、お礼とともに「(以前家族が)お世話になった」「感慨深い」「(広報誌について)飯野町の様子がわかりとても良い」など、嬉しい言葉をいただきました。

また、「職員の皆さんの笑顔が、多くの方々に届けられますように」など、応援してくださっている言葉も届きました。

本当にありがとうございました。

コロナがはやりはじめて はや4年目

当事業所でも、いく人かの利用者様が感染し、その方に対しても介護にあたりました。

訪問時には物々しい重装備(防護服)を身に着けました。「自分たちが感染しては何にもならない。自分たちがウィルスを運んでは、どうしようもない。」その緊張感ははかり知れません。

利用者様に対しては不安を抱かれないように、普段に近い生活ができるよう心がけています。例えば、生きていく上で一番大切な食事は「お弁当を買い届ける」それが手っ取り早い支援かもしれません。しかし、当事業所では、事業



所内で、その方に合わせた形態に調理した、温かくて、やわらかくて体に優しい食事をお届けする方法で支援しました。利用者様からも「おいしかったよお」の言葉が聞かれました。

ひとり暮らし、高齢者世帯の多くの方は、病気になっても家族に頼ることができないのが現状です。そんなつらい時こそ、人間味のある対応ができるヘルパー事業所でありたいと思います。

〈ヘルパーステーション管理者
菅野 三三子〉



介護のお店ができました!

「くらしと介護のサポート 道しるべ」は、中央設備(株)の介護事業部として、旧「衣料ショップあそ」の跡地に1月末にオープンいたしました。

紙おむつや生活雑貨、食器、歩行補助つえ、歩きやすい靴、下着など様々な介護用品を取り揃えております。

当店の特徴として、販売だけでなく福祉用具の貸与やリフォームを通して、豊かで快適で安心な暮



らしの提供にも努めています。商店街にあり、皆さんにフラッと立ち寄っていただける、気軽に相談できるお店を目指しています。

また月1回「オレンジカフェ」も開催予定です。介護する側の皆さん同士がつながり介護の悩みなどを共有することで、負担を少しでも軽減できれば…そんな癒しの場所になればと思っております。

また、福島県内では初の排せつ研究所「ミニむつき庵ふくしま」も併設し、おむつなどの相談もできます。(むつきとはおむつのことです)手に取っていただけるサンプルもございますのでお気軽にお立ち寄りください。

店長 阿曾 ルミ



**会員・賛助会員
ボランティア募集**



NPO やすらぎの郷いの
福島市飯野町字前川16
TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一口一言

梅の花が、平年よりかなり早く咲いた。まだ冬景色の中の梅の花をみるとうれしくなる。なんとも言えない香り、なつかしさがよみがえる。においては五感の中でも1番記憶を呼び起こすそうである。AIではできない喜びである。(K)